

## 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

圏域： 大津圏域

医療提供体制に関する議論	<p>圏域内でも病院の数が多く、また高度急性期を担う医療機関が多く存在するため、医療機能に関する考え方について議論を行い、高度急性期、急性期を「急性期相当」として考えることとで一定の理解を得られた。</p> <p>また、2025年の医療機能について、圏域内の全ての病院がプランを作成し情報共有を行った。</p>
定量的な基準による分析に関する議論	<p>平成30年9月の調整会議において埼玉方式による分析を実施し、平成31年2月の調整会議において奈良方式、大阪方式による分析を実施した。委員からは急性期と回復期間の「地域急性期」の重要性に関する意見が出たほか、定量的な分析を実施したことにより大津圏域における医療提供体制の現状の共通認識を図ることができた。</p>
5疾病に関する議論	<p>5疾病に関する議論は実施していない。</p>
5事業に関する議論	<p>5事業に関する議論は実施していない。</p>
地域包括ケアシステム、在宅医療に関する議論	<p>平成31年2月の調整会議において医師会、訪問看護ステーション協議会、ケアマネ協から大津圏域における在宅医療の現状と課題について説明をいただいた。</p> <p>また、令和元年8月の調整会議においては、在宅医療に取り組む病院から各病院の取組について情報提供があった。</p>
その他	<p>大津圏域の医療機関が参加する地域医療連携推進法人湖南メディカル・コンソーシアムに関して協議を行った。</p>
今後の議論の予定	<p>大津圏域の地理的要件から、北部エリアと南部エリアに分けて検討を行うことの必要性についての意見があった。</p> <p>地域医療構想に関する具体的対応方針の再検証要請を受け大津圏域では大津赤十字志賀病院および地方医療機能推進機構(JCHO)滋賀病院が公表対象となったため、これを踏まえた協議を行う。</p>



## 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

圏域： 甲賀圏域

医療提供体制に関する議論	<p>「滋賀県地域医療構想」(平成 28 年 4 月策定)の推進に向け、必要な協議や施策検討を行う場として、構想区域(二次医療圏域)ごとに「地域医療構想調整会議」を設置、平成 28 年度より開催。(平成 28 年度 1 回、平成 29 年度 2 回、平成 30 年度 1 回、R 元年度 1 回の会議を開催)</p> <p>当圏域では 2025 年・2040 年を見据えた場合、「病床過剰」の状態には無く、2025 年予定病床数 1,174 床、病床必要量 1,178 床であり、圏域内の病院において、概ね役割分担がなされている。圏域を越えて、相互に機能を補完しながら地域の医療提供体制の検討を行っていく必要がある。</p>
定量的な基準による分析に関する議論	<p>甲賀圏域における病床機能報告と埼玉県方式分析の比較を提示し、当圏域においては、全県に比して「病床機能報告」と「埼玉県方式分析結果」の差は小さく(「現状の病床数・病床機能≒2025 年病床数推計」、各医療機関の病床機能報告が概ね実態に即しているものと判断できると考えている。</p>
5 疾病に関する議論	<p>滋賀県保健医療計画の進捗状況として、5 疾病の脳卒中・心筋梗塞等の心血管疾患について、ブロック化の円滑な推進のために、救急医療体制の検討の場が持たれていくこと、「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」の施行に伴う国、都道府県の動きについて情報提供。</p>
5 事業に関する議論	<p>滋賀県保健医療計画の進捗状況として、5 事業の小児救急医療体制について、ブロック化についての湖南・甲賀ブロックでの検討状況、今後の検討予定について、情報提供。</p>
地域包括ケアシステム、在宅医療に関する議論	<p>(地域医療構想調整会議の場では議論はしていない)</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・滋賀県医師確保計画、滋賀県外来医療計画についての情報提供。</li> <li>・9 月 26 日公表された地域医療構想に関する WG による「公立・公的医療機関の診療実績データ」の再検証の要請に係る分析結果の共有。</li> </ul>
今後の議論の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病床の機能分化・連携に向けた取組に関すること</li> <li>・目指すべき医療提供体制を実現する施策に関すること</li> </ul> <p>に関する情報共有・意見把握の場として、開催していく。</p>

## 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

圏域： 東近江圏域

医療提供体制に関する議論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の課題として、急性期、慢性期病床を減少させ、回復期病床を充実させること。さらに、在宅医療の体制整備が必要。</li> <li>・平成 29 年度に「公的医療機関等 2025 プラン」管内 3 病院が策定し、平成 30 年度には管内のすべての病院が「東近江地域医療機関 2025 プラン」を策定した。</li> <li>・令和元年度は、「療養病床実態調査」を実施し、慢性期病床の実態を共有した。</li> </ul>
定量的な基準による分析に関する議論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病床機能報告の結果については、埼玉県方式、奈良県方式、大阪アプローチ分析等により、実態を共有している。</li> </ul>
5 疾病に関する議論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度に「滋賀県保健医療計画」の 5 疾病（がん、脳卒中、心筋梗塞等心血管疾患、糖尿病、精神疾患）について、県と圏域の現状について報告を行った。</li> </ul>
5 事業に関する議論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度に「滋賀県保健医療計画」の 4 事業（救急医療、災害医療、周産期医療、へき地医療）、令和元年度に小児医療（小児救急、小児在宅）について県と圏域の現状について報告を行った。</li> </ul>
地域包括ケアシステム、在宅医療に関する議論	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度に在宅医療について、県と圏域の現状について報告を行った。令和元年度は、がんの在宅医療について報告する予定。</li> <li>・「東近江圏域医療福祉ビジョン」（平成 29 年度改訂）の 5 つの目標に沿って、関係機関の取り組みを会議の中で報告を求め、地域が一体的に取り組めるようにしている。（令和元年度は、住民啓発について報告を求めた。）</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度「地域医療連携推進法人」設立について検討中。</li> </ul>
今後の議論の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の医療機能の分化・連携を推進する。</li> <li>・当管内は、これまで、急性期から回復期、慢性期を経て在宅医療への切れ目のない医療を受けられる体制整備をめざし、「三方よし研究会」等により多職種による切れ目のないサービスの提供体制の構築に取り組んできたことから、関係機関の意識が高い圏域である。今後も、関係機関と課題を共有しながら、地域包括ケアの推進を図っていく。</li> </ul>

## 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

圏域： 湖東圏域

医療提供体制に関する議論	<p>平成 28 年度から計 9 回 (H28、1 回 H29、3 回 H30、3 回 R 1、2 回) 会議を開催。病床機能の分化連携、在宅医療体制の整備について検討している。</p> <p>平成 29～30 年度に 4 病院が医療機関 2025 プランを策定し、調整会議で共有を図った。各病院において病床再編が検討され、不足していた回復期の病床が整備されてきている。さらに、各病院の回復期病床（地域包括ケア病棟）の特性や機能について情報交換した。</p>
定量的な基準による分析に関する議論	<p>埼玉方式の分析方法を活用して圏域内の現状について情報提供した。分析結果は、病床機能報告と比較すると、高度急性期や急性期の病床数が実態の病床に近い結果となっていることを確認した。</p>
5 疾病に関する議論	<p>5 疾患についてはこれまでは議論しておらず、圏域内の現状や課題について今後検討予定</p>
5 事業に関する議論	<p>小児救急、周産期については圏域及び湖東・湖北ブロックの現状について情報提供し、今後ブロックで検討をすることについて共有した。</p>
地域包括ケアシステム、在宅医療に関する議論	<p>平成 29 年度から会議の委員に介護関係者を加え、地域包括ケアシステムの推進に向けた現状や課題、各機関の取り組み状況を共有している。</p> <p>在宅医療体制の構築については、圏域内の現状や取り組み状況の把握、課題の整理を行い、圏域の体制構築に向けた議論を進めている。</p>
その他	<p>地域医療介護総合確保基金の活用について協議</p> <p>厚生労働者が公表した公的医療機関の再検証の分析結果について情報提供</p> <p>地域医療連携法人について情報提供</p> <p>住民啓発について協議し、パンフレットの作成予定</p>
今後の議論の予定	<p>5 疾病・5 事業について現状や課題の整理、及び在宅医療の体制構築に向けた協議を進める。また、湖東・湖北ブロックでの検討が必要な疾病や事業については、ブロックでの検討状況の情報提供を行う。</p> <p>圏域内の地域包括ケアシステムの推進にむけた各機関や団体の取り組みについて共有する機会とする。</p>

## 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

圏域： 湖北圏域

医療提供体制に関する議論	<p>圏域にふさわしい医療提供体制の実現を目指して、平成 28 年度から本年 12 月までの間に地域医療構想調整会議を 9 回開催。調整会議以外にも、関係者間の協議や学習会等を重ね、目標とする将来像を共有し、2025 年までの病院機能の再編イメージを合意し、それに向けた再編やダウンサイジング等についての議論を行っている。</p> <p>病院機能の再編議論の中で、各々の病院機能を明確にし、その機能を十分発揮できる体制を作ることで、急性期・回復期・慢性期・在宅医療介護・看取りへの切れ目ない医療介護提供体制を含む地域包括ケアの推進を目指すとし、引き続いて、調整会議その他の協議の場を継続していくこととしている。</p>
定量的な基準による分析に関する議論	<p>平成 30 年 12 月の調整会議において、圏域の病床機能報告と埼玉方式による分析の比較を提示。圏域では、急性期過剰と回復期不足がともに緩和される分析となり、参考として議論を進めることとした。</p> <p>圏域の特徴である慢性期患者の圏域内完結率が低いことを含め、救急搬送件数や在宅医療・見取り、多職種によるネットワークの状況等について議論し、病院機能の分化・再編の具体化に向けて、早急に、段階的な動きを始めることが合意された。</p>
5 疾病に関する議論	<p>5 疾病に関する議論は実施していない</p> <p>今後、病院機能再編の具体化の中で、拠点機能にかかる協議が必要になってくる</p>
5 事業に関する議論	<p>小児救急医療体制</p> <p>湖東・湖北の 2 医療圏のブロック化について、現場小児科医や市町行政との検討の場を設けることとし、今後の検討予定について調整会議に情報提供した。</p>
地域包括ケアシステム、在宅医療に関する議論	<p>平成 29 年度より、調整会議の構成委員に介護関係者を加え、医療と介護を一体的に進めるとし、在宅医療・訪問歯科診療・薬剤師在宅訪問・訪問看護・介護サービスの抱える現状と課題について報告いただき、共有している。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療構想の進め方にかかる国の動向について情報提供した。</li> <li>・厚労省が公表した公立公的医療機関の診療実績分析による再検証要請に関して、該当医療機関を含む圏域全体の医療機能の検討を継続していくことを確認した。</li> <li>・滋賀県医師確保計画、滋賀県外来医療計画について情報提供した。</li> </ul>
今後の議論の予定	<p>今年度第 3 回調整会議を令和 2 年 3 月に開催予定。この間、関係者による協議や学習の場を持ちながら、県の実施する「医療機能再編支援業務委託事業」の結果も参考にし、医療機能再編の具体化について次年度以降につなげていく。</p>

## 地域医療構想調整会議における議論の進捗状況

圏域： 湖西圏域

医療提供体制に関する議論	病院の機能転換に関する検討状況や二次保健医療圏域のあり方検討の情報提供 2025年に向けたプラン（民間病院含む）の策定状況等
定量的な基準による分析に関する議論	湖西圏域の病床機能報告結果を情報提供 （埼玉県方式、大阪アプローチ、奈良方式による定量的な基準による分析結果を情報提供）
5 疾病に関する議論	（地域医療構想調整会議の間では特に議論はしていない） <参考> ・各疾病の研修会や会議において、関係機関と意見交換をしている
5 事業に関する議論	（地域医療構想調整会議の間では特に議論はしていない） <参考> ・小児医療（小児救急）について、湖西圏域の現状と課題を意見交換する場を設ける予定
地域包括ケアシステム、在宅医療に関する議論	（地域医療構想調整会議の間では特に議論はしていない）
その他	地域医療連携推進法人滋賀高島を平成 31 年 4 月に設立 （テレビ会議システム導入による職員合同研修や部会を立ち上げて連携可能な業務の検討を進めているところ）
今後の議論の予定	病床機能については、今後も特に大きな動きはない見込み。 湖西圏域における大きな課題は、二次保健医療圏域の維持